

わたしの おぎくぼ

発行：荻窪地域区民センター協議会 〒167-0051 杉並区荻窪2-34-20 ☎3398-9127 FAX 3398-9128
ホームページ <https://ogikubokyougikai.sakura.ne.jp/>
荻窪地域区民センター 杉並区荻窪2-34-20 ☎3398-9125 【休館日】第2・4月曜日と20日・12/28～1/4
本天沼区民集会所 杉並区本天沼2-12-10 ☎5310-4633 【休館日】第1・3月曜日・12/28～1/4



荻窪の記憶V エピローグ・発展と変貌

I～IVとつづけてきた展示の締めくくりとして、
これまで触れてこなかった地域、戦中・戦後という時間をカバーし、
新たな切り口から荻窪の発展を振り返ります。



地下鉄荻窪駅の開業式(1962) 提供:地下鉄博物館



完成時のタウンセブン(1981)



善福寺川と荻窪団地(1962頃) 杉並区立郷土博物館蔵

荻窪地域区民センター 玄関ロビー展示

開催期間:12月14日(水)～1月16日(月)

- 展示場所:荻窪地域区民センター 1F玄関ロビー
杉並区荻窪2-34-20
☎03-3398-9127
- 開館時間:午前9時～午後9時
- 休館日:第2・第4月曜日と毎月20日、12月28日～1月4日

杉並区立郷土博物館分館 区民参加型展示

開催期間:1月21日(土)～3月19日(日)

- 展示場所:郷土博物館分館 西棟1F展示室
杉並区天沼3-23-1(天沼弁天池公園内)
☎03-5347-9801
- 開館時間:午前9時～午後5時
- 休館日:毎週月曜・毎月第3木曜、12月28日～1月4日

これからのスケジュール

12月

- 2日・9日・16日(金) 「背骨を整えよう! 腰痛スッキリ体操」講師:高橋史奈(背骨コディシヨニクスセラピスト)
- 6日・11日(日) 当センター1F玄関ロビー 「杉並区制施行90周年記念事業 原水爆禁止署名運動パネル展」
- 11日(日) 「荻窪奇席」落語:金原亭馬玉、太神楽由芸、翁家利助
- 14日(水)～1月16日(月) パネル展示 「荻窪の記憶V～エピローグ・発展と変貌」場所:当センター1F玄関ロビー

令和5年1月

- 12日(木) 「善福寺池の四季・第3回」現地集合
- 21日(土)～3月19日(日) パネル展示 「荻窪の記憶V～エピローグ・発展と変貌」会場:郷土博物館分館西棟1F展示室
- 31日(水) 広報紙「わたしのおぎくぼ」No.361 2月・3月号発行

2月

- 2日(木) 二期会メソッドソング歌手 ひらやすかつこが歌う「日本の歌と世界の歌」
- 5日(日) 「地域懇談会」
- 26日(日) 「本天沼集会所まつり」会場:本天沼区民集会所

3月

- 14日(水) 広報紙「わたしのおぎくぼ」No.362 4月・5月号発行

※イベント・講座等は変更になる場合がございます。
※会場が明記されていないものは全庁、会場は荻窪地域区民センターです。

- 広報部
- 総務部
- 地域交流部
- 事業企画部





「文武二道」と「自主自律」が教育理念
「国際社会で活躍できる人間の育成」を目指す
東京都立西高等学校



高校紹介の第7回は、都立西高の萩原聡(はぎわら・さとし)校長先生からお話を伺いました。

★概要

東京都立西高等学校は、昭和12年に創立された府立第十中学校を母体とする創立85年の学校です。都教育委員会から「進学指導重点校」や「理数研究校」などに指定され、生徒たちは自由でおおらかな雰囲気の中で、伸び伸びと様々な活動に取り組み、優れた実績を挙げてきました。西高には多彩な能力を持った生徒がたくさんおり、学習活動、学校行事、部活動、課外活動などの場で、生徒一人ひとりが輝くことができる舞台があります。

★教育理念

教育理念の一つ、「文武二道」は、文(学習・教養)と武(学校行事、部活動、課外活動など)の二つの道を求めるのが目標です。「文」の中心は「授業で勝負」を合言葉に、生徒と教員で作上げる質の高い授業を目指します。「武」の中心は、生徒たちが企画運営する伝統ある学校行事や、多様で活発な部活動です。

もう一つの教育理念「自主自律」と併せ、「国際社会で活躍出来る器の大きな人間の育成」を目指し、互いに切磋琢磨することで、心豊かでたくましく、高い学力と豊かな教養を備えた生徒に成長することを目標としています。



生物・ニワトリの胚発生の観察

西高では入学から三年間を通して計画的な「キャリア教育」を行っています。進路指導や、社会の第一線で活躍する卒業生らによる講演会やパネルディスカッション、大学の研究室訪問などを通して、「自己実現の第一歩として大学進学」を捉えさせ、希望進路の実現に向けた学習支援に努めています。

学生たちが10年先、20年先に必要となる資質を身に付けるため、①バランスのとれた英語4技能の育成②探究活動の充実③日本語、英語によるディベートや言語能力の向上④幅広い教養⑤海外の高校生との交流を通じたグローバルな視点の育成、などに取り組んでいます。

★西高の特色

西高は、世田谷や杉並、練馬から自転車で通学する生徒が多いのですが、町田市や八王子市からも電車で通うなど生徒の居住地は都内のほぼ全域に分布しています。自主性を重んじ、制服もなく生徒はのびのびと勉学に部活動にと、いそしんでいます。

進学先としては、更なる学びが可能な大学を志望し、令和4年は国公立へ現役と浪人合わせて203人(東大27人、京大23人など)、私立へは1206人(早稲田大172人、明治大161人、東京理科大122人、慶応大104人など)が合格しています。都立では日比谷高校に次ぐ進学実績を誇っています。

難関大学に進学した卒業生がチューターとして毎日放課後、進路室に常駐し、学習のアドバイスや様々な相談に応じています。



インドネシア姉妹校との交流



アメリカンフットボール部

★萩原校長の思い

萩原校長は、校長として西高が四校目で、西高では既に5年勤めておられます。この間、コロナ禍で活動が制限されてきましたが、今年は「やれるものはやろう」と活動の幅を可能な限り広げるよう努めているそうです。

萩原校長の一番の願いは、伸び伸びと様々な教育活動に取り組んできた生徒たちが「将来の夢の実現」に向けて仲間と一緒に自らを磨き高めてほしい、ということです。

東京都立西高等学校

住所: 〒168-0081 杉並区宮前4-21-32

TEL: 03-3333-7771

ホームページ: <https://www.metro.ed.jp/nishi-h/>

開催案内

二期会メゾソプラノ歌手ひらやす かつこ が歌う
日本の歌と世界の歌



～ひらやす かつこと共に～ …あなたの心に花束を…

◆第一部 日本の歌 懐かしの冬の歌メドレー、早春譜他

◆第二部 世界の歌 アメージンググレイス、オペラ『カルメン』よりハバネラ他
歌: ひらやす かつこ、ピアノ: 田中 美里

ひらやす かつこ ～プロフィール～
武蔵野音大音楽科卒業、91年文化庁芸術家在外研修員、国際交流基金芸術派遣員としてドイツ、イタリア、オーストリア、ロシアに国費留学。
ソリスト、二期会会員。

★日 時: 2023年2月2日(木)

★時 間: 午後2時～3時30分

★会 場: 荻窪地域区民センター

★定 員: 30名 ※申込はP4をご覧ください。

「荻窪の記憶」

こぼればなし

現在と過去を繋ぐ横丁

戦後のヤミ市をルーツとする吉祥寺のハーモニカ横丁はすっかり人気スポットになっていますが、荻窪にもヤミ市に由来し、戦後の雰囲気を残すエリアがあるのをご存知ですか。

荻窪駅北口、バス・ロータリーの東に位置するエリアです。ちなみに、ヤミ市が初期の露店から木造のバラックに変わると、「マーケット」と呼ばれるようになりますが、このエリアには「引揚者厚生マーケット」「中央マーケット」「国際平和第二マーケット」という三つのマーケットが並んでいました。「引揚者厚生マーケット」には上海からの引揚者が多かったそうですが、名前からも世相がうかがわれます。けっして広くはないエリアですが、マーケット時代の路地や井戸が過去と現在をつなぎ、歴史の連続性を感じさせてくれる貴重なエリアになっています。「荻窪の記憶」プロジェクト 松井和男



荻窪駅北口。手前はバス・ロータリー。その奥に並ぶ低層の店舗がマーケットの名残を感じさせてくれる。



「引揚者厚生マーケット」をルーツとする商店街のアーケード。高度成長期には、街頭テレビに人だかりができました。



同じアーケードにある創業67年の喫茶店・邪宗門



マーケット時代の路地とダイワ荻窪タワー



マーケットの二階は住居でしたが、水道はなく、井戸を利用していました。

イベント報告

アートを楽しもう！
地域アートとの出会い

第44回 アート展



絵手紙ひまわりの会



松溪中学校



益子陶芸会



荻窪高校 美術部

9月24日(土)、25日(日)の両日、荻窪地域区民センターにて第44回アート展が開催されました。台風15号の影響で、24日(土)は雨模様となり、来場者の出足が懸念されましたが、翌25日(日)は天候も回復し、お陰さまで2日間合計で約500名の来場者に作品を鑑賞していただくことができました。コロナ禍中でのイベントではありましたが、地域の学校関係、一般の個人展示、グループの展示など、盛り沢山の内容となりました。ご協力いただきました関係者各位にあつく御礼申し上げます。

開催報告

防災フォーラム2022 「障害者と考える地域の防災！」

防災フォーラムが10月23日(日)「障害者と考える地域の防災！」をテーマに荻窪地域区民センターにて開催されました。プログラムは午前の講演と午後には防災体験ゲームSUGを参考にしたグループ討議と防災備品の展示で構成。講演は「障害によって災害時の対応はどう違うのか」(杉並区障害者団体連合会・高橋博氏)、「障害者の在宅避難確保をめざす立場から」((一社)ほっとけない連代表理事・佐藤弘美氏)、「医療的ケア児・者支援の立場から」(NPOみかんぐみ代表理事・村一浩氏)、「杉並区の防災対策」(杉並区土田防災課長、保健福祉部西山係長)。

40以上の町会・自治会・障害者支援団体など100人以上が参加し活発な質疑応答、議論が行われ、テーマへの理解を深めました。



基調講演 高橋博さん



手話通訳をまじえて SUG第1グループ

講座などのご案内

※スケジュールが変更になった場合はホームページなどでお知らせします。

講座名	内容・講師	開催日・時間	定員	参加費	申込締切
武蔵野の自然探訪 「善福寺池の四季」第3回	武蔵野三大湧水池の一つである善福寺池の植物を中心とした自然を四季にわたって観察します。～第3回冬～草木の冬越し一樹木の冬芽や草本の越冬葉・冬鳥を観察 講師：星野義延(元東京農工大学教授) 星野順子(東京環境工科専門学校講師)	1月12日(木) 午後1時30分～4時頃 (集合場所：都立善福寺公園 上の池ポート乗場前)	15名	200円	12月18日(日)
二期会メゾソプラノ歌手 ひらやす かつこ が歌う、 日本の歌と世界の歌	～ひらやす かつこと共に～…あなたの心に花束を… ◆第一部 日本の歌 懐かしの冬の歌メドレー、早春讃他 ◆第二部 世界の歌 アメージンググレイス、オペラ「カルメン」よりハバナ他 歌：ひらやす かつこ、ピアノ：田中 美里	2月2日(木) 午後2時～3時30分	30名	200円	1月22日(日)

【講座の申込方法】 往復はがきに加え、荻窪地域区民センター協議会ホームページ(<https://ogikubokyougikai.sakura.ne.jp/>)からも申込ができます。

応募締切の数日後に結果をご連絡します。(往復はがきでの申込、ホームページでの申込とも応募者多数の場合は抽選です)

◆往復はがきの場合(1人1枚) ①希望講座名 ②住所 ③氏名(フリガナ) ④年齢 ⑤電話番号を明記のうえ、荻窪地域区民センター協議会(〒167-0051 荻窪2-34-20)宛申込みください。

◆ホームページの場合(1人1件) 受講を希望する講座にアクセスし、フォーマットに沿って必要事項を入力し、申込みください。なお、ホームページの開催案内の掲載開始は、申込締切日の概ね1ヵ月前を予定しています。

第24期協議会委員を募集します

当協議会の委員になって地域の絆を育んでいきませんか。

当協議会では、荻窪エリアの所定の団体から推薦された方や、自ら応募された地域のみなさんが委員として活動しています。

委員は、地域の交流とふれあいを図るイベントや講座の企画、地域の課題解決に向けた事業、広報活動、協議会の運営などを行います。

●各部の活動例(協議会委員は下記4部門のいずれかに所属し活動します)

地域交流部

イベントの開催



おぎくぼセンター祭

事業企画部

講座などの実施



初心者向け俳句講座

総務部

総務・経理全般



地域交流会
こみゅに亭カフェ

広報部

広報紙・HP等



隔月広報紙の発行

第24期定期募集要項

●募集対象：荻窪地域エリア内に在住・在勤・在学の方

●募集人員：10名程度

●活動期間：原則2期4年(令和5年4月～令和9年4月)

注：1期…2年

●報酬：交通費程度

●活動日：各部の部会は概ね毎週火曜日のAMに実施。

●申込書類：荻窪地域区民センター協議会委員申込書に必要事項をご記入の上、協議会事務局へ持参または郵送により提出してください。(申請書は荻窪地域区民センター及び本天沼区民集会所に置いてあるほか、協議会ホームページからダウンロードもできます。)

●申込期限：令和5年2月1日(月)まで

●問合せ先：荻窪地域区民センター協議会事務局

〒167-0051 荻窪2-34-20 ☎03-3398-9127

●募集対象となる荻窪地域エリアの町名と丁目

本天沼(1)・2・3、天沼全域、清水全域、今川1・2、桃井1・2、上荻1、阿佐谷南(3)、荻窪全域、南荻窪全域、宮前1・2・3・(4)、高井戸東4、成田西(2)・(3)、浜田山(4)

注：()は一部が荻窪地域エリア

郷土博物館分館

問い合わせ：☎5347-9801

西棟2階展示室

「発掘された縄文時代～光明院南遺跡～」 割れた石棒のなぞにせまる

光明院南遺跡は荻窪駅の西側にある光明院の周辺に位置しており、縄文時代を中心に長い間、人々が生活していたことを示す痕跡が発見されています。光明院南遺跡からは、昭和初期以降、これまで8度の発掘調査が実施され、土器や石器だけでなく、石棒など多くの資料が出土しています。今回の展示では、これらの出土資料や分かりやすいイラストも使って、縄文時代の人々のくらしや祭祀について紹介します。

【開催期間】令和4年11月12日(土)～令和5年1月22日(日)

西棟1階展示室(分館区民参加型展示)



荻窪の記憶V

エピローグ・発展と変貌

【開催期間】令和5年1月21日(土)～3月19日(日)

※「荻窪の記憶V」は当協議会の出展です。詳細はP1をご覧ください。

- 場 所：杉並区立郷土博物館分館(杉並区天沼3-23-1 天沼弁天池公園内)
- 開館時間：午前9時～午後5時
- 休 館 日：毎週月曜日と第3木曜日(祝日の場合は開館し、翌日休館)
年末年始の休館日(12月28日～1月4日)
- 観 覧 料：無料

講座報告

講座「与謝野晶子と源氏物語」

●講師：神野藤 昭夫(かんのとう・あきお)

跡見学園女子大学名誉教授

9月17日の第1回講座で神野藤名誉教授は、与謝野晶子の「新訳源氏物語」と「新新訳源氏物語」を紹介。晶子が逐語訳とせず「原著の精神を我が物として、訳者の自由訳を敢えて行い、源氏物語を国文学に押し上げた」と解説されました。

10月1日の第2回講座では、晶子が夫の寛を追ってパリに行き、彫刻家アウグスト・ロダンと会い、広い世界において「新訳源氏物語」を完成させる意義を自覚したことを紹介。

さらに全訳の「新新訳源氏物語」の執筆中、寛が肺炎で死去したことで、晶子は一時挫折しながらも、昭和14年に完成させた経過を丁寧に解説していただきました。



*「地域からのお知らせ」のコーナーに掲載したい地域情報がありましたら、センター協議会へFAXでご連絡ください。 FAX番号:3398-9128

荻窪地域区民センター協議会からのお知らせ

委員会の 日程

12月21日(火) 午後1時～ 会場：第1・2集会室
1月31日(火) 午後1時～ 会場：第1・2集会室
※委員会是一般公開です。傍聴を希望される方は事務局までお申し込みください。